

## 19 広報関係

### (1) プレスリリース（平成26年度）

組織名 年月日	プレスリリースの内容
林木育種センター H26. 5. 20	<p>タイトル ケニアからの研修員を受入れ</p> <p>ケニア林木育種技術協力プロジェクトによる研修員の受入れについてプレスリリースした。</p> <p>（要旨）</p> <p>（独）国際協力機構（JICA）が実施する技術協力プロジェクト「気候変動への適応のための乾燥地耐性育種プロジェクト」において、5月19日から6月27日までの間、ケニア共和国からの研修員の受け入れを行う。</p>
林木育種センター H27. 2. 18	<p>タイトル 遺伝子組換えスギの隔離ほ場における栽培試験に関する説明会の開催</p> <p>遺伝子組換えスギの隔離ほ場における栽培試験について、説明会を開催することをプレスリリースした。</p> <p>（要旨）</p> <p>平成27年度から遺伝子組換えスギ（雄性不稔スギ）の隔離ほ場における栽培試験を実施する。その実施に先立ち、森林総合研究所林木育種センター（日立市）の周辺住民の方を対象に試験内容についての説明会を開催する。</p>
林木育種センター H27. 3. 13	<p>タイトル：埼玉県指定天然記念物「入西のビャクシン」の後継樹の里帰り</p> <p>林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。</p> <p>（要旨）</p> <p>埼玉県の天然記念物に指定されている埼玉県坂戸市の石上神社の「入西のビャクシン」（イブキ）の後継樹の苗木が、独立行政法人森林総合研究所林木育種センターから里帰りします。</p>
林木育種センター H27. 3. 13	<p>タイトル：葛飾柴又帝釈天の名木「瑞龍松」の後継樹の里帰り</p> <p>林木遺伝子銀行110番で増殖、育成した苗木の里帰りについてプレスリリースした。</p> <p>（要旨）</p> <p>東京都葛飾区の保存木に指定されている柴又帝釈天題経寺の名木のクロマツ「瑞龍松」の後継樹の苗木が、独立行政法人森林総合研究所林木育種センターから里帰りします。</p>
林木育種センター H27. 3. 20	<p>タイトル 特定母樹（成長に優れた樹木）で地球温暖化防止に貢献</p> <p>成長等に優れ農林水産大臣の指定を受けた特定母樹の配布を開始することについてプレスリリースした。</p> <p>（要旨）</p> <p>林木育種センター及び各育種場でこの春から、成長等に優れ農林水産大臣の指定を受けた樹木である特定母樹の原種の配布を開始する。特定母樹は、地球温暖化防止や育林コストの削減のほか、花粉発生量の減少にも貢献することができると期待される。</p>
東北育種場 H26. 4. 30	<p>タイトル 津波で被害を受けた東北の海岸防災林の再生に貢献します</p> <p>東北地方の海岸防災林再生のために取り組んでいる事業についてプレスリリースした。</p> <p>（要旨）</p> <p>東北地方の海岸防災林を再生するため、平成25年度から関係機関とともに農食研事業「東北地方海岸林再生に向けたマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ種苗生産の飛躍的向上」に取り組んでいる。同年度にコンテナ実生苗の大量生産技術に資する充実種子の効率的・確実な選別方法を開発した。また、26年度からはキリン（株）R&amp;D基盤技術研究所が新規参画し、「クロマツ不定胚からの苗木大量増殖技術」の開発に着手した。</p>

(2) テレビ・ラジオ等（平成26年度）

組織名	マスコミ名等 年 月	報 道 の 概 要
育種センター	伊那ケーブルテレビ ジョンいなテレ12 平成27年2月25日	○ いなテレ12 林木遺伝子銀行110番により、長野県の天然記念物に指定されている箕輪町長岡の「宮脇のハリギリ」から採穂をしたことが紹介された。
東北育種場	IBC 平成26年4月9日	○ ニュースエコー 「石割り桜の発芽の様子」昨年度に釜石市の桜を植える会から預かった盛岡裁判所の石割り桜の発芽状況について紹介された。
関西育種場	RSK山陽放送 平成27年3月15日	○ JNNニュース 樹勢が衰えてきていた岡山県備前市（旧閑谷学校）にあるカイノキをつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。
九州育種場	UMKテレビ宮崎 平成26年5月19日	○ 高千穂神社で御神木の採穂式 高千穂神社境内にある巨大な杉の御神木は、枯れて倒れる恐れが出ているため、跡継ぎの木を育てるために、伐木安全士による杉の枝穂を切り取る作業が行われた。切り取られた枝穂は、林業技術センターなど3カ所で後継ぎ用の苗木に育てられ、早ければ2年後に高千穂神社に植えられる。
	MRT宮崎放送 平成26年5月19日	○ 高千穂神社で老木の採穂式 高千穂神社にある御神木の後継となる木を育てようと、枝の先を採取する採穂式が行われた。伐木安全士が木の上へ登り、約80の接ぎ穂を採取した。接ぎ穂は、宮崎県林業技術センターなどで育てられ、3年後に苗木となって里帰りする予定。
	済州MBC(韓国) 平成26年6月13日	○ 気候温暖化 済州の森を守ろう 韓国済州島においては、マツ枯れが著しいが、これには、地球温暖化が影響していると考えている。今後の対策を考えるための一事例として、九州育種場におけるマツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発状況が紹介された。

## (3) 新聞報道等 (平成26年度)

組織名	マスコミ紙名等 年 月	報 道 の 概 要
育種センター	林政ニュース 平成26年4月9日	○ケニアの育種プロジェクトで採種園の管理棟が完成 ケニアで取り組んでいる技術協力プロジェクトによるティヴァ採種園の管理棟の完成が紹介された。
	日本経済新聞 平成26年4月10日	○飛散増え患者拡大 無花粉スギ普及急ぐ スギ植林状況とともに、遺伝子組換え技術により無花粉スギが作出され、生態系に与える影響などを検証していくことが紹介された。
	毎日新聞 平成26年4月23日	○「無花粉スギ」関西にも これまで関東地方を中心に進んできた花粉症対策品種の植林が関西でも始まったことが紹介された。
	中日新聞 平成26年6月18日	○江南でネムノキ枝 採取 ジーンバンク事業の取組として愛知県江南市に自生するネムノキを採取したことが紹介された。
	化学工業日報 平成27年2月12日	○薬用樹木を効率生産 民間企業や道県の研究所と共同で、漢方薬等の原料となる植物の育種や増殖技術の開発に取り組んでいることが紹介された。
	読売新聞 平成27年2月20日	○南相馬「奇跡の松」ピンチ 林木遺伝子銀行110番により、福島県南相馬市のかしまの一本松の後継樹を地元の要請を受けて育成するため、つぎ木とまき付けを行ったことが紹介された。
	河北新報 平成27年3月7日	○かしまの一本松 枯死の危機・南相馬 林木遺伝子銀行110番のサービスで行っている、南相馬市の「かしまの一本松」について接ぎ木及び種まきを行い後継苗木の育成に取り組んでいることが紹介された。
	産経新聞 平成27年3月21日	○県天然記念物「ねじれっ木」後継樹が里帰り 坂戸の石上神社で植樹 林木遺伝子銀行110番のサービスにおいて3月20日に里帰りを行った、埼玉県指定天然記念物「入西のビャクシン」について紹介された。
北海道育種場	北海道林材新聞 平成26年5月28日	○林木育種センター北海道育種場主催 林木育種技術講習会 5月15日に北海道育種場主催で行われた、カラマツ採種園管理に関する林木育種技術講習会の様子が掲載された。
東北育種場	朝日新聞 5月5日	○眠れる宝 防災林再生に一役 農食研事業に参画した(株)キリンの「休眠技術」について掲載された。
	朝日新聞 2月13日	○再生の夢つないだ松ぼっくり 高田松原を守る会から育苗依頼を受けた高田松原の松の種子について、平成24・25年度に同会へ約300本ずつの苗木を引き渡したことが掲載された。
関西育種場	林政ニュース 平成26年4月9日	○「杉の大スギ」の後継樹が里帰り、関西育種場が増殖 3月24日に里帰りした、高知県大豊町八坂神社にある国の特別天然記念物「杉の大スギ」について掲載された。
	高知新聞 平成26年6月8日	○「優等生スギ」県内当场 低コスト造林に期待 高知県香美市物部町内の国有林において、エリートツリーの植栽が行われたことが紹介された。
	山陽新聞 平成26年8月6日	○火おこしヤリース作り 勝央でイベント 家族ら自然親しむ 一般公開「森林とのふれあい2014」の開催について、関西育種場及び各コーナーが紹介された。
	津山朝日 平成26年8月7日	○木工体験し木に親しむ 関西育種場イベント「森林とのふれあい」親子連れ240人 一般公開「森林とのふれあい2014」の開催について、関西育種場及び各コーナーが紹介された。
	山陽新聞 平成27年3月5日	○清水寺の紅梅 接ぎ木で増殖 樹勢が衰えてきていた京都府京都市(清水寺)にある紅梅をつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。
	京都新聞 平成27年3月5日	○クローン苗木生育成功 清水寺の名木も 樹勢が衰えてきていた京都府京都市(清水寺)にある紅梅をつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。
	朝日新聞 平成27年3月5日	○150年紅梅 新たな命 清水寺、接ぎ木で増殖 樹勢が衰えてきていた京都府京都市(清水寺)にある紅梅をつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。
	山陽新聞 平成27年3月14日	○楷の木に“2代目” 岡山・勝央の施設で接ぎ木増殖成功 樹勢が衰えてきていた岡山県備前市(旧閑谷学校)にあるカイノキのつぎ木増殖の成功が紹介された。
	山陽新聞 平成27年3月16日	○同遺伝子苗木“里帰り” 関西育種場 保存会へ手渡す 樹勢が衰えてきていた岡山県備前市(旧閑谷学校)にあるカイノキをつぎ木増殖し、里帰りした様子が紹介された。
九州育種場	熊本日日新聞 平成26年4月25日	○映画PRでスギ苗木贈る 「ウッジョブ」矢口監督 水とみどりの愛護基金に 「WOOD JOB」の矢口監督が23日、熊本市の「肥後の水とみどりの愛護基金」を訪れ、花粉発生量が少ないスギの苗木を贈った。苗木は森林総合研究所が提供した。
	熊本日日新聞 平成26年9月20日	○「姫之河内の木斛」残したい 天草市・亀浦の住民ら「地域の宝」保全活動 天草市指定天然記念物「姫之河浦の木斛」は3年ほど前から樹勢が衰えている。種の保存のため、林木育種センター九州育種場の職員が挿し木用の枝を取った。同センターで2、3年育て、植え戻す。